今後のあきる野市行政改革推進に向けた重点提言

平成２３年１２月

あきる野市行政改革推進市民会議

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

１　財政の健全化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（１）奨励措置制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（２）引田地区の整備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（３）郷土の恵みの森づくり事業基金　・・・・・・・・・・・・・・・・1
（４）不用財産の処分　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（５）地方債　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
（６）パンフレット作成の経費削減　・・・・・・・・・・・・・・・・・2

２　協働のまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）民間企業の経営者の参画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）市政情報の透明化・情報交換　・・・・・・・・・・・・・・・・・2

３　環境共生　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

４　行政運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）事務事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）指定管理者制度・業務委託　・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（３）五日市地域交流センター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（４）人材育成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

おわりに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

〔資料編〕
○資料１　あきる野市行政改革推進市民会議　開催記録　・・・・・・・・・4
○資料２　あきる野市行政改革推進市民会議名簿　・・・・・・・・・・・・6

はじめに

あきる野市行政改革推進市民会議は、あきる野市の行政改革に市民の意見を反映すべく、平成２０年１２月に組織された。本市民会議は、延べ９回にわたり議論を重ね、平成２２年１月に「あきる野市行政改革への提言」として、市に対し、歳入の確保、職員人件費の節減、指定管理者制度の運用、補助金の削減等、財政の健全化に向けた提言を中心に申し入れをした。

この提言を踏まえて、市は、「第２次あきる野市行政改革推進プラン」（平成２２年度～平成２４年度）を策定し、財政の健全化に取り組んできた。その結果、平成２２年度の経常収支比率は、前年度比で３．８ポイント改善されて９４．９％となり、市の取組は一定程度評価されるべきであろう。しかしながら、未だ財政の健全化は不十分と言わざるをえず、更なる改善を求めるものである。

また、上記行政改革推進プランにおいては、行政改革推進項目として、協働のまちづくり、環境共生、効率的な行政運営等が掲げられている。これらの推進項目についても、市民の立場から意見を述べたい。

以上の次第であるから、本市民会議は、改めて以下のとおり行政改革に対して提言する。

１ 財政の健全化

(1) 奨励措置制度

奨励措置制度は、新規の企業誘致だけでなく既存企業の定着にも有効であるから、有識者を入れた委員会を設置した上、固定資産税相当額の奨励金などの導入を検討すること

(2) 引田地区の整備

引田地区を住・商・工・農のバランスのとれた利便性の高い魅力的な複合型市街地とするため、市街化区域指定に向けて、地権者の意見を踏まえて東京都へ積極的に働きかけること

(3) 郷土の恵みの森づくり事業基金

「郷土の恵みの森づくり事業基金」への寄附を促すため、「郷土の恵みの森」が市民共通の財産であることをPRするとともに、同基金の目標額及び使途等の計画や同基金に対する寄附が指定寄附金となること等の情報提供に努めること

また、寄附を通じて市政に対する関心や参加意識が高まるような取組にも努めること

(4) 不用財産の処分

不用財産の処分は、従前も未利用地等利活用基本方針に基づいて実行しているが、歳入増加の一つの方法としても積極的に行うこと

(5) 地方債

地方債は、過度に依存すると公債費による財政圧迫、次世代への負担増等になることから、公債費比率の数値目標を適確に設定し、慎重に実施すること

(6) パンフレット作成の経費削減

各種パンフレットを作成する際には、広告を入れるなどして、経費がかからない方法を検討すること

2 協働のまちづくり

(1) 民間企業の経営者の参画

種々の地域課題の解決に民間企業の知恵を生かすため、民間企業の経営者が参画できる取組を行うこと

(2) 市政情報の透明化・情報交換

ア 対話型の情報提供

市は、市民へ一方通行の情報提供をするのではなく、市民から意見を聞き入れ、その意見に対する取組をさらに市民に伝達するといった、対話型の情報提供をするとともに、その手段として、インターネットを活用したコミュニケーションサービスであるソーシャルネットワーク※の活用について検討すること

イ 教育現場での活用

市の広報紙や市のホームページを教育現場においても活用し、市から有益な情報が発信されていることを学べるように努めること

※ソーシャルネットワークとは、人と人とのつながりをサポートするコミュニケーションサービスで、名前や職業、趣味などのプロフィールを登録し、自分がどのような人物なのかを公開することによって、信頼あるネットワークを広げることができる。

3 環境共生

エコ活動への取組は、環境への負荷を低減するだけでなく、経費の削減にもつながるため、すべての施設において適切に目標を設定し、これが達成されるように努めること

4 行政運営

(1) 事務事業

事務事業の休廃止、縮小、統合等を積極的に進めること

(2) 指定管理者制度・業務委託

指定管理者制度の導入や民間事業者への業務委託は、行政サービスの向上と経費の削減の両面から検討した上、積極的に行うこと

(3) 五日市地域交流センター

五日市地区は歴史や文化などの地域資源が豊富であり、その拠点ともいえる五日市地域交流センターの活用方法については、地域の市民等と検討すること

(4) 人材育成

経験が豊富な職員の退職により行政サービスが低下しないよう、人材育成基本方針に基づき、人材育成に取り組むこと

おわりに

近年、地方自治体には、地球温暖化防止や生物多様性の保全などに対する積極的な取組が求められており、市には、「東京のふるさと」にふさわしい豊かな自然環境と調和したまちづくりを期待している。しかしながら、行政のできることには限界があるため、市民、企業、行政がそれぞれの役割を認識し、地域の課題解決に向けて協働して取り組んでいくことが重要である。

協働のまちづくりを進めていくためには、市民等との信頼関係を深めていくことが大切であり、市政情報の透明化の取組として、行政改革の取組の進捗状況についても市のホームページ等を積極的に活用して、情報の共有化に努めていただきたい。

市民会議は、行政改革が進捗し、健全な財政のもと的確な市政運営が行われることを切に期待している。今後、市ではこの提言を参考にして、さらにスピード感をもって実効ある改革に取り組むよう、強く望むものであり、我々、市民会議としても、提言を示した責任がある立場から、今後も行政改革の取組に注視していきたいと考えている。

平成２３年１２月５日
あきる野市行政改革推進市民会議

○資料１　あきる野市行政改革推進市民会議　開催記録

回数	日程	内容
第１回	平成２０年１２月１９日（金）	議題 （１）あきる野市における行政改革の取組について （２）今後のスケジュールについて
第２回	平成２１年２月３日（火）	市内施設の視察 （１）市民プール（室内・室外） （２）五日市ファインプラザ （３）五日市出張所 （４）五日市地域交流センター （５）五日市保健センター （６）増戸会館（増戸学童クラブ・中央図書館増戸分室） （７）五日市児童館増戸分室 （８）いきいきセンター （９）秋川体育館
第３回	平成２１年４月２７日（月）	議題 （１）あきる野市における行政改革の取組状況について （２）今後の進め方について
第４回	平成２１年５月２５日（月）	議題 （１）第３回市民検討会議における課題について ア　あきる野市の財政状況 イ　職員等の人件費の状況 ウ　指定管理者制度の導入状況 エ　補助金の削減状況 オ　歳入の確保策 （２）各テーマの検討について ア　歳入の確保策 イ　人件費・報酬関係 ウ　指定管理者関係 エ　補助金関係
第５回	平成２１年７月２日（木）	議題 （１）第４回市民検討会議における課題について ア　あきる野市の財政状況について イ　職員等の人件費の状況について （２）各テーマの検討について（市民会議委員の意見の一覧） ア　歳入の確保策 イ　人件費・報酬関係 ウ　指定管理者関係 エ　補助金関係
第６回	平成２１年７月３０日（木）	議題 （１）第５回市民会議における課題について （２）各テーマの検討について（市民会議委員の意見の一覧） ア　歳入の確保策 イ　人件費・報酬関係 ウ　指定管理者関係 エ　補助金関係

第7回	平成２１年9月１８日（金）	議題 （1）第６回市民会議における課題について （2）テーマの検討について ・歳入の確保策
第8回	平成２１年１０月３０日（金）	議題 （1）第7回市民会議における課題について （2）あきる野市行政改革への提言（案）について
第9回	平成２１年１１月２７日（金）	議題 （1）あきる野市行政改革推進市民会議委員からの意見について （2）あきる野市行政改革への提言（案）について
	平成２２年2月1日（月）	「あきる野市行政改革への提言」の提出
第10回	平成２２年6月１５日（火）	議題 （1）第２次あきる野市行政改革推進プランについて （2）平成２２年度当初予算編成における取組状況について
第11回	平成２２年１２月１６日（木）	報告事項 第２次あきる野市行政改革推進プランの取組の進捗状況について 議題 （1）男女共同参画情報誌「ｆ－ｗａｖｅ」発行事業（市民課） （2）ＩＴボランティア活動事業（公民館） （3）図書館における雑誌の提供事業（図書館）
第12回	平成２３年5月２５日（水）	報告事項 平成２３年度当初予算編成について 議題 （1）第２次あきる野市行政改革推進プランにおける主な取組について （2）第２次あきる野市行政改革推進プランの進捗状況について
第13回	平成２３年7月5日（火）	報告事項 （1）取組２「市民との協働プロジェクトの推進」について （2）取組３２「保育園の民営化」について （3）取組４６「プール施設のあり方」について （4）取組５７「定員管理の適正化」について 議題 取組４１「五日市地域交流センターの有効利用」について
第14回	平成２３年１０月４日（火）	議題 「あきる野市行政改革への提言」の検証
第15回	平成２３年１２月5日（月）	「今後のあきる野市行政改革推進に向けた重点提言」の提出

○資料２　あきる野市行政改革推進市民会議名簿

	氏　　名	団　体　等	区　分
1	近 藤　智 孝（委員長）	弁護士	識見を 有する者
2	岡 野　哲 史（副委員長）	税理士	
3	岡 部　信 夫	秋川農業協同組合　代表理事専務	
4	河 邉　行 廣	元地方公務員	
5	木 原　克 二	公　募	市民の代表
6	俵　　武 司	公　募	
7	倉 田　克 治	あきる野市町内会・自治会連合会　会長 （平成２０年１２月１９日から 平成２２年５月３１日まで）	各種団体の 代表
	南　　征 夫	あきる野市町内会・自治会連合会　会長 （平成２２年６月１日から 平成２３年１２月１８日まで）	
8	鶴 田　和 男	あきる野商工会　会長	
9	中 嶋　博 幸	秋川木材協同組合　副理事長	
10	山 本　仁 志	あきる野青年会議所（ＪＣ）副理事長 （平成２０年１２月１９日から 平成２２年６月１４日まで）	
	森 田　康 大	あきる野青年会議所（ＪＣ）顧問 （平成２２年６月１５日から 平成２３年５月２４日まで）	
	荻 原　　出	あきる野青年会議所（ＪＣ）副理事長 （平成２３年５月２５日から 平成２３年１２月１８日まで）	
11	坂 本　栄 司	あきる野市社会福祉協議会　会長	
12	小 泉　恵 美	あきる野市国際化推進青年の会　副会長	
13	青 木　和 子	あきる野市文化団体連盟　常任理事	
14	吉 田　榮久夫	NPO 法人あきる野市体育協会 専務理事	

任期：平成２０年１２月１９日から平成２３年１２月１８日まで（３年間）